

H27形質転換植物デザイン研究拠点 共同利用・共同研究課題一覧(全30件)

	代表研究者	代表研究者所属	研究課題名
1	渋谷 健市	農業・食品産業技術総合研究機構 花き研究所	アサガオSPL遺伝子の花卉老化および花成反応における役割の解明
2	多田 安臣	名古屋大学 遺伝子実験施設	サリチル酸シグナルの鍵転写補助因子であるNPR1と相互作用する細胞死誘導因子の機能解析
3	武宮 淳史	九州大学大学院 理学研究所	孔辺細胞における光シグナル伝達の分子機構の解明
4	伊藤 秀臣	北海道大学 大学院理学研究院	環境ストレス活性型トランスポゾンを用いたストレス耐性植物の作出
5	久保山 勉	茨城大学農学部	アサガオの開花関連遺伝子の探索と解析
6	松下 智直	九州大学大学院 農学研究院	フィトクロムによる選択的スプライシング制御を仲介する新奇スプライシング関連因子PRIPの相互作用因子探索
7	古本 強	龍谷大学文学部 農学研究所	低温感知によるPIF4タンパク質のユビキチン化を介した分解系の分子機構の解明
8	飯田 秀利	東京学芸大学	植物の低温シグナル伝達におけるカルシウムイオンの役割に関する分子機構の解明
9	木下 俊則	名古屋大学 トランスフォーマティブ生命分子研究所	ナス科植物の細胞膜プロトンポンプ形質転換体の表現型解析
10	藤田 泰成	国際農林水産業研究センター	トマトにおけるABA/ストレスシグナル伝達機構の解明
11	庄司 翼	奈良先端科学技術大学院大学	ステロイドアルカロイド生合成関連遺伝子変異体のTILLINGを活用したスクリーニング
12	河本晃一	株式会社日本農林社	遺伝子組換え植物を用いた新規耐病性品種の作出
13	小関 良宏	東京農工大学	環境ストレス耐性遺伝子組換えイモ類の作出
14	児玉 豊	宇都宮大学 バイオサイエンス教育研究センター	簡便かつ高効率なゼニゴケ形質転換技術の確立
15	園木 和典	弘前大学	木本植物におけるセルロース結合ドメイン融合型ラッカーゼの発現と評価
16	明石 欣也	鳥取大学 農学部	バイオ燃料植物ジャトロファの遺伝子組換え技術の高効率化および乾燥冷害耐性品種の開発
17	中野 雄司	理化学研究所 長田抗生物質研究室	ブラシノステロイド情報伝達遺伝子群の形質転換によるトマトへの有用形質の導入
18	権藤 崇裕	宮崎大学	バイオマス生産植物の効率的な形質転換系の確立
19	藤原 義博	株式会社プリベンテック	植物を用いたウイルス様粒子(VLP)ワクチンとアジュバント生産の研究
20	藤井 裕二	日本製紙株式会社 アグリ・バイオ研究所	耐塩性ユーカリの特定網室での栽培試験
21	河岡 明義	日本製紙株式会社 アグリ・バイオ研究所	耐冷性遺伝子組換えユーカリの隔離ほ場栽培試験
22	田茂井 政宏	近畿大学	二酸化炭素固定能力を強化した植物の実用利用開発
23	高根 健一	株式会社インプランティノベーションズ	形質転換シクラメンの隔離ほ場における生物多様性影響評価および栽培管理技術の確立
24	出村 拓	奈良先端科学技術大学院大学	遺伝子組換えポプラの隔離ほ場評価に向けた基盤構築

	代表研究者	代表研究者所属	研究課題名
25	間 竜太郎	農業・食品産業技術総合研究機構 花き研究所	遺伝子組換え青色キクの実用化に向けた生物多様性影響評価における形質転換植物評価技術に関する研究
26	田部井 豊	農業生物資源研究所	遺伝子組換えナタネから我が国のカラシナへの遺伝子浸透に関わるカラシナの特長評価と環境適応度に関連する遺伝子の探索
27	加賀 秋人	農業生物資源研究所	遺伝子組換えダイズの導入遺伝子環境拡散リスク評価モデルの精緻化
28	佐々 義子	NPO法人くらしとバイオプラザ21	メディアガイドラインの策定
29	志村 幸子	農業生物資源研究所	一般消費者に印象を与えるプレゼンテーション法の比較と遺伝子組換え作物及び遺伝子組換えカイコに対する意識変化に関する調査
30	大宮あけみ	農業・食品産業技術総合研究機構 花き研究所	黄花アサガオの再現～江戸期に存在した花きの再現を通じた遺伝子組換え植物の国民的な認知に向けた試み